

中学部 2年生 理科 年間計画

【1段階】

指導内容	単元名（仮） *各教科等を合わせた指導で行う
<p>C 物質・エネルギー 生活単元学習</p> <p>エ 磁石の性質：磁石の性質について、磁石を身の回りの物に近付けたときの様子に着目して、それらを比較しながら調べる活動 (ア) 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。 ⑦ 磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があること。 ⑧ 磁石の異極は引き合い、同極は退け合うこと。 (イ) 磁石を身の回りの物に近付けたときの様子について調べる中で、差異点や共通点に気づき、磁石の性質についての疑問をもち、表現すること。</p>	<p>「じしゃくのふしぎ」*小3 ①じしゃくにつくもの ②じしゃくの極 ③じしゃくについた鉄 *小3指導要領と内容がほぼ同じ。「磁石に近づけると磁石になるものがあることは」は小の内容から移行されていないことから取り扱わない。</p>
<p>C 物質・エネルギー 生活単元学習</p> <p>オ 電気の通り道：電気の回路について、乾電池と豆電球などのつなぎ方と、乾電池につないだ物の様子に着目して、電気を通すときと通さないときのつなぎ方を比較しながら調べる活動 (ア) 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。 ⑦ 電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があること。 ⑧ 電気を通す物と通さない物があること。 (イ) 乾電池と豆電球などをつないだときの様子について調べる中で、差異点や共通点に気づき、電気の回路についての疑問をもち、表現すること。</p>	<p>「電気で明かりをつけよう」*小3 ①明かりがつくとき ②電気を通すもの *小3指導要領と内容はほぼ同じ。</p>

【2段階】

<p>A 生命 生活単元学習</p> <p>イ 季節と生物：身近な動物や植物について、探したり育てたりする中で、動物の活動や植物の成長と季節の変化に着目して、それらを関係付けて調べる活動 (ア) 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。 ⑦ 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。 ⑧ 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。 (イ) 身近な動物の活動や植物の成長の変化について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現すること。</p>	<p>*小4 「春の生き物」①生き物の様子②植物を育てよう③春の記録をまとめよう 「夏の生き物」①生き物の様子②植物を育てよう③夏の記録をまとめよう 「秋の生き物」①生き物の様子②植物を育てよう③秋の記録をまとめよう 「冬の生き物」①生き物の様子②植物を育てよう③冬の記録をまとめよう *小4指導要領とほぼ同じ。実体験を通すことから、通年で、それぞれの季節において学習するように小学校では仕組まれている。</p>
<p>B 地球・自然 生活単元学習 社会との関連</p> <p>ア 雨水の行方と地面の様子：雨水の行方と地面の様子について、流れ方やしみ込み方に着目して、それらと地面の傾きや土の粒の大きさとを関係付けて調べる活動 (ア) 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。 ⑦ 水は、高い場所から低い場所へと流れて集まること。 ⑧ 水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違いがあること。 (イ) 雨水の流れ方やしみ込み方と地面の傾きや土の粒の大きさとの関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現すること。</p>	<p>「地面を流れる水のゆくえ」*小4 *小4指導要領とほぼ同じ。体験を通して取り扱うことから、雨が降る時期がいいと思われる。</p>
<p>B 地球・自然 生活単元学習</p> <p>イ 天気の様子：天気や自然界の水の様子について、気温や水の行方に着目して、それらと天気の様子や水の状態変化とを関係付けて調べる活動 (ア) 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。 ⑦ 天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあること。 ⑧ 水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくこと。 (イ) 天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現すること。</p>	<p>「天気と1日の気温」*小4 ①1日の気温の変化 *小4の指導要領とほぼ同じ。(ア)①については、C 物質・エネルギーにおいて、「水のゆくえ」と関連して、蒸発、水蒸気を取り扱う。しかし、「結露」に関しては取り扱わない。</p>
<p>C 物質・エネルギー 生活単元学習</p> <p>ア 水や空気と温度：水や空気の性質について、体積や状態の変化に着目して、それらと温度の変化とを関係付けて調べる活動</p>	<p>「水の温度と変化」*小4 *小の4年指導要領と文言は異なることが多い。特別支援の知的では、小4年</p>

<p>(ア) 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。</p> <p>⑦ 水や空気は、温めたり冷やしたりすると、その体積が変わること。</p> <p>⑧ 水は、温度によって水蒸気や氷に変わること。</p> <p>(イ) 水や空気の体積や状態の変化について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現すること。</p>	<p>p47は扱わず、p48を主に取り扱う。 しかし、金属に関しては、取り扱わない。</p> <p>参考</p> <p>「ものの温度と体積」</p> <p>① 空気の温度と体積</p> <p>② 水の温度と体積</p> <p>「水のゆくえ」</p> <p>① 消えた水のゆくえ</p> <p>② 空気中の水</p> <p>*斜線は、中学部3年にて、学ぶ。</p>
---	---